

2023年度 八戸学院大学

地域経営学科・人間健康学科・看護学科

一般選抜Ⅰ期

## 国語

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開かないこと。
2. 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いたときは、手を挙げて監督者に知らせること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
5. 問題冊子は持ち帰ってよい。

【I】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「バブル」経済の崩壊以降、いたるところで人減らしによって労働が強化され、そのうえさらに短期的な「成果」が求められ、労働環境はきわめて劣悪になっている。その結果、こつこつと働き続ける1モティヴェーションが滅殺され、働くことに対して①カイギ的になるのみならず、働く意味を問うこと自体についてさえ、註1シニズムが蔓延しはじめているように感じられる。

2 こうした労働環境の劣化は、もっぱら経営側の戦略によって生み出されたのであって、働く人々が求めたのではない。こうした経営戦略にあつては、労働力もまた、他の原材料と同様に、②ニインに投入量を調節しても構わない商品の一つでしかない。そして、こうした戦略の基礎にあるのは、1仕事の意味も働きがいをも、すべて貨幣報酬の多さに③カンゲンされるとする、浅薄な労働観・人間観にほかならない。

こうした経営戦略が、制約なき市場での競争をもって万能とする「ネオ・リベラリズム（新自由主義）」の潮流に棹さして、利潤の追求に足かせとなる規制の骨抜きや撤廃を押し通してきたのだから、労働環境が急速に悪化するのも当然であろう。一人一人が働く喜びを実感しながら、働く意味を求めていけるようになるためには、こうした労働環境の悪化に対して歯止めがかけられねばならない。

ここでは、規制緩和一般について考えることはできない。しかし、3少なくとも、野放図な非正規雇用と、労働者派遣に関しては、根本的な社会的制約が必要である。なるほど、バブル崩壊後に経営が急激に悪化したところは、非正規雇用の導入と労働者派遣の自由化は、あたかも激痛時のモルヒネのように、④トウヨセざるを得なかったと言えるかもしれない。しかし、そうした副作用のきわめて強い中毒性の政策は、註3時限立法にとどめねばならない。さもなくば希望のもてない長時間労働ゆえに、人々の心は衰弱あるいは荒廃し、社会全体が衰退しかねない。

しかし、非正規雇用や労働者派遣が制限されたなら、グローバルな競争にさらされている企業の収益がいつそう危

うくなる、という経営側の主張は今なお根強い。私は、経済の実態についてはずぶの素人なので、この主張に対して確たることは言えないが、そうした主張にわかにならずともできない。

もちろん、業種や企業ごとに事情は多様であろう。しかし、これまで日本企業が曲がりなりにも国際競争力を維持し得た背景には、熟練した労働者のチームワーク・そこでのノウハウの継承に支えられた「ものづくり」の伝統のうえで、さまざまな技術開発が積み重ねられてきたこともあずかっただけであろう。そうだとすれば、競争力を維持していくためには、そうした伝統を継承して技術開発をさらに重ねていくことが求められているはずである。にもかかわらず、株主への配当を重視し、短期的な業績の数字をあげんがために、A というのは、4本末転倒でしかあるまい。

こうしたものづくりの伝統をふまえて新たな技術を開発していくことは、たしかに個々の企業にとっては多大の負担なのであろう。しかし、そうした困難に対しては、すでにEUでさまざまに試みられてもいるように、税や資金調達等での⑤ユウグウ措置なり、研究開発の社会的支援なりといった政策を求めていくべきであって、規制の緩和によって労働を強化したり、非正規あるいは派遣社員を低賃金で働かせて短期利益を確保しようとするのは、およそ倒錯した戦略であらう。

大庭 健 「いま、働くということ」より

注1 シニシズム Ⅱ 社会の風習や風潮を、軽視し、見下すような態度をとる考え方。注2 棹さおさして Ⅱ 時代や風潮の流れにうまく乗るさまを表す。注3 時限立法 Ⅱ 有効期限が明示されている法律。一時的な対策のための政策を行うために制定される。

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に改めなさい。

問二 傍線部1「モチイヴェーション(モチベーション)」の意味として、最も適当なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 動機
- イ 忍耐力
- ウ 予測
- エ 期待
- オ 歓喜

問三 傍線部2「こうした労働環境の劣化」とは、どのような状況をさしているか。文中の語句を用いて四十字以内で答えなさい。

問四 傍線部3とあるが、「根本的な社会的制約」が求められるのはなぜか。筆者の考えとして最も適当なものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 非正規雇用や労働者派遣に対する規制緩和は、労働環境の悪化という問題の解決に向けた、根本的な政策ではないから。

イ 際限ない非正規雇用や労働者派遣の拡大は、労働者を疲弊させ、結果的に社会全体に悪影響を及ぼしかねないから。

ウ 非正規雇用や労働者派遣の強化は、バブル崩壊後には効果を発揮したが、経営環境が安定した今は必要がなくなつたから。

エ やむを得ず非正規雇用や労働者派遣に頼った政策は、一時しのぎのもので経済の回復につながるものとは言えないから。

問五 空欄Aに入る表現として、最も適当なものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 野放図に労働者の数と労働時間を増加させる

イ 伝統を切り捨て、新技術の開発に努める

ウ 技術力のある労働者を雇用して開発を行う

エ 労働環境を悪化させ、働く意欲を減殺し続ける

問六 傍線部4「本末転倒」の意味として、最も適当なものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア 最終的には失敗すること。
- イ 失敗に失敗を重ねてしまうこと。
- ウ 大切なことと、つまらないことが反対になること。
- エ 物事を中心ではない、つまらない事柄のこと。

問七 波線部I「仕事の意味」とあるが、あなたの考える「仕事の意味」について百字以内で書きなさい。

【II】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

大きな角張った①キンゾク製の鞆を両手に持ち、肩からは安物のボストンバッグを下げて、額や首筋に汗を流しながら、1雅人は約束の時間に五分遅れたことを謝った。

「八坂神社の近くに、おいしい赤飯弁当を売ってる店があつて、そこへ寄つたもんやから」と雅人は言った。

千春は、梅田の地下街で、昼食用にサンドウィッチを買って来ていた。雅人の分は、自分のものよりも値段の高いほうを選んだので、2雅人が赤飯弁当を買って来たことにも腹が立った。

京都から山陰本線で福知山まで行き、そこで宮津行きの電車に乗り換える。どちらも特急に乗れば二時間半ほどだったし、特急と特急の連絡はうまくいくのに、雅人は福知山と宮津間の電車だけ普通列車の切符を買っていた。

切符はぼくが京都駅で買って置いてあげると言われたからまかせたのに、どうして時間のかかる普通列車にしたのかと、千春はいっそう②キゲンが悪くなり、私は十八歳で、この人は二十九歳なのだから、波長が合わないのは当然にしても、どうも何もかもが行き違いになりそうな相手だと思って、福知山までの特急電車に乗ると、読みたくもない本を<sup>ひろ</sup>拡げて、そこに視線を向けつづけた。

しかし、あまり無愛想なものいけないと思ひ直し、「すごくきれいな空。気持ちのいい小春日和ですね」

と千春が話しかけると、

「ほんまに気持ちのええお天気やねエ」

と相槌を打ち、二、三分たってから、

「小春日和ってのは、春に使う言葉やあらへんねん。十一月くらいに、春みたいなお天気の日に、小春日和ですねって使うねん」

そう雅人は A 言った。

言葉の使い方を間違えた千春を傷つけまいとしている気遣いが如実にあらわれていて、千春はそれさえも、雅人の鈍重さと凡庸さの③ショウチョウのように感じた。

「へえ、そんな、大学の入試には出えへんかった…」

千春はそう言い返して、それ以後、福知山に着くまで、ほとんど口をきかなかった。

福知山で、宮津行きの特急電車が出て行くのを見ながら、雅人は、あれに乗れば早いのだが、千春さんのお父さんが生まれ育った丹後の山や④デンエンをゆっくり眺めながら宮津へ向かうほうがいいだろうと思ったのだと言った。

「のーんびりした、きれいな田舎の風景がつづくねん。千春さんは、お父さんのふるさとへ行きはるのは、きょうが初めてやって聞いたから、普通電車にしたんやけど、それよりも早はよう着くほうがよかった？」

と訊かれ、  
「早よう着いても、しょうがないから：」  
と千春は答えた。

そして、宮津までの電車のなかで、雅人が買って来た赤飯弁当で遅い昼食をとった。

お父さんのお墓をふるさとに建てることは、おめでたいことなのだろうか、それとも祝ったりすることではないのだろうかと迷い、きのう、会社の⑤ネンパイの人に訊いてみたら、どんちゃん騒ぎをすべきことではないが、やはりおめでたいことなのではなからうかという言葉が返ってきたので、あえて赤飯弁当にしてみたのだ：。

だし巻き玉子とカマボコと筍、それに京茄子の浅漬けが添えてある弁当を食べ終わるころ、雅人はそう言った。  
「：どうも、ありがとう」

3 千春がたったそれだけ言うのに、雅人の言葉が終わってから二、三分もの時間が必要だった。

宮本輝『星宿海への道』より

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に改めなさい。

問二 傍線部1「雅人」とあるが、電車に乗るまでの場面で、千春は雅人の印象をどのように表現しているか。文中から二十字以内で抜き出して答えなさい。



問三 傍線部2「雅人が赤飯弁当を買って来た」とあるが、そのわけを文中の語句を用いて四十字以内で答えなさい。

問四

A

に入る最も適切な語句を、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア あきれながら      イ 微笑みながら      ウ あわてながら      エ むっとしながら

問五 傍線部3「千春がたったそれだけ言うのに、雅人の言葉が終わってから二、三分もの時間が必要だった」とあるが、この時の「千春」の心情の説明として最も適切なものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア 赤飯弁当にした理由の正当さを熱心に説明する雅人に、強引な押しつけがましきを感じ、閉口している。

イ 駅で雅人と会ってからずっと雅人には感謝していたが、これ以上の感謝の気持ちをもどくようにして伝えればよいか困っていた。

ウ 何かと気に食わなかった雅人のこれまでの行動に、それぞれ千春に対する雅人なりの考えがあったことを知って、驚いていた。

エ 千春に気遣いながらも、言葉の使い方の間違いを人前で指摘した雅人の無神経さを許すことができず、ひと言感謝の言葉を口にするのも嫌だった。